

生命を守る水 がテーマです

- ①災害時の飲料水確保(非常時に役立つモノ づくり)
- ②発展途上国の安全飲料水の確保(途上国の 日常は日本の非常時の連続である)

●設立:2005年5月

●所在地:神奈川県川崎市中原区

●資本金:3500万円

●社員:5名

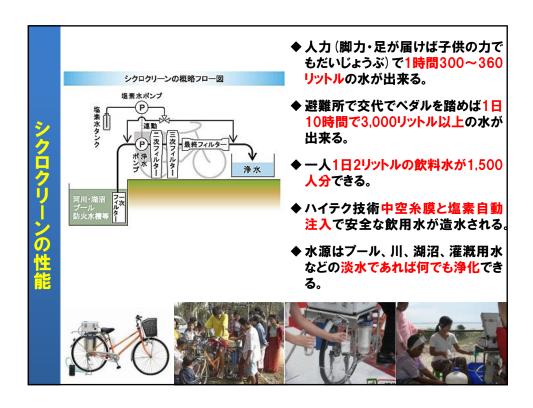
●設立目的:自転車一体型浄水装置「シクロ

クリーン」の製造販売

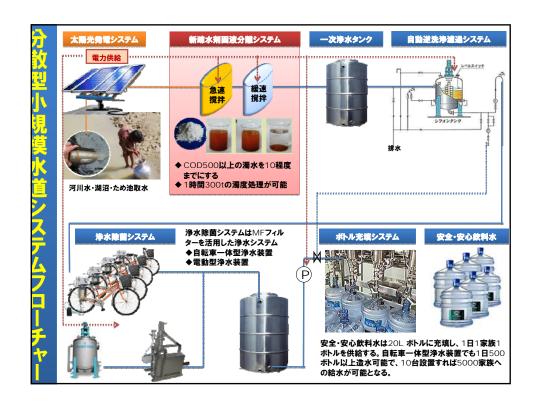


- ①電気もガソリンも要らない(非常時では無電源地域 になる)
- ②水源まで自力で移動できる(自走性を発揮できる)
- ③足の方が手で作動させるよりも大量に浄水できる (1時間に300リットル=150人分の飲料水確保)











人力揚水ポンブ

浄水(浄水場)

給水(管路不要)







取水・浄水・供水・利用のすべてを無電源で実現する。運営・管理は企業やNGOが 投資して設立する水道事業組織と受益者の住民が組織する「給水組合・給水委員 会」で行う。官民共同事業PPPの可能性も大。







ここで提案するシステムは、運転管理、維持管理、運営は企業やNGOが設立する水道事業組織と、裨益者である住民が維織する「給水組合・給水委員会」で行うことを原則としている。10台の自転車—体型浄水装置を設置(浄水場に相当)すれば、20リトルボトルを毎日1000所帯(給水人口5000人程度)に給水することが出来る。給水は現地に適した輸送手段(リキ 裨益者である住民が組 シャや小型トラック)で給水委員会が宅配する(管路給水の代替え)。

バングラディシュデルタ地域でのサイクロ ン襲来による被害は毎回多数の犠牲者を出 す。被害にあった地域の多くは水没し、河 川には海水が流れ込む。多くの井戸も使用 不可能となり、給水支援活動が行われるが、 陸路による支援は困難である。

日本企業側が提案する給水支援は、船舶に 海水淡水化を積載し、被害現場において海水から飲料水を造り、迅速に給水支援活動 を展開する活動であり、そのシステムの装



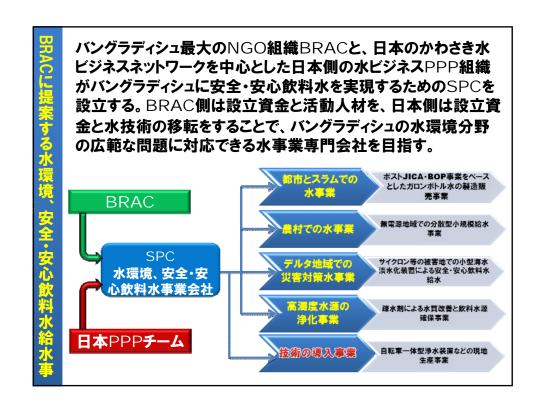












ご清聴有難う御座いました。

日本ベーシック株式会社